

大杉神社と天狗

稲敷市

稲敷市阿波に大杉神社があります。

昔、この一帯は霞ヶ浦東岸域(稲敷・行方・鹿島南部)と東総域(千葉県/香取・海上・匝瑳)を治めていた菟上之国^{うなかみのくに}の一部で、「常陸風土記」には安婆嶋と記されていたとい
います。この地には、そびえ立つ一本の巨大な杉があり、この地が「あんば」と呼ばれていたことから、この杉に鎮座する神様は「あんばさま」と呼ばれ多くの人々の信仰を集めました。

今から八百年ほど前、源義経・武蔵坊弁慶らと行動を共にしたといわれている常陸坊海存^{ひつとらふみいそん}(海尊)がこの地を訪れ、社僧を務めることになりました。



その海存は、人並外れた大きな体に紫色の髭を蓄え、青い目と特徴的な高い鼻という容貌に加え、不思議な力を持ち数々の奇跡を起こしたことから、人々は「海存は大杉大明神の眷属^{けんぞく}で、天狗に違いない」と噂し、それが天狗信仰につながっていったのだといえます。

現在、神社の一の鳥居左側には鼻高天狗「ねがい天狗」が、右側には烏天狗「かない天狗」の像が並びます。御神木は、太郎杉・次郎杉・三郎杉がありましたが、かつては「あんばさま」と呼ばれていた太郎杉が一七七八年に消失し、現在では、樹齢およそ千年・樹高40mの大杉「次郎杉」と、樹高28mの「三郎杉」が御神木とされています。

千年の時を刻む御神木にパワーと歴史を感じてみてはいかがでしょう。

※1 眷属(けんぞく)：一族。親族、広く郎党・従者。(掲載事項には諸説あります。)



お出かけの際には、周囲の状況等に十分ご配慮いただけますようお願いいたします。

「運ぶ」を支え、環境と未来をひらく

ISUZU 茨城いすゞ自動車株式会社

本社/〒310-0063 水戸市五軒町1-2-5 ☎029-225-1215(大代) <http://www.ibaraki-isuzu.co.jp>